

八戸ブックセンター

11

2020

11月18日より
第2期が始まります！

#本で旅をしよう



27 Fri

本のまち読書会

K-BOOK フェスティバル前夜祭

K-BOOK
フェスティバル
2020 in Japan

ハン・ガンの作品をよむ

今年はオンラインで開催されることとなった K-BOOK フェスティバル。二日間のメインイベントとして「ハン・ガンさんに聞く」(11/29(日) 17時～)が開催されます。八戸ブックセンターではこの<前夜祭>として、日本語訳されているハン・ガン作品を事前に読み、当日読んできた本を持ち寄り鑑賞し合う読書会です。

※申込時に、お読みになったハン・ガン作品をひとつお伝えください。



『すべての、白いものたちの』
ハン・ガン／著 河出書房新社

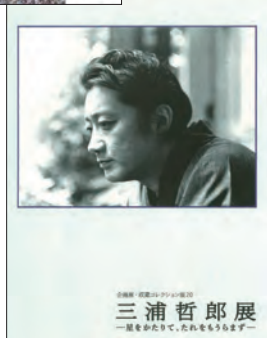


18:00 ~ / 要予約

7 Sat

パワーッシュ

三浦哲郎『盆土産と十七の短篇』



中央公論新社から6月に発行された、三浦哲郎の『盆土産と十七の短篇』は、中学校・高校の教科書に収録された作品を中心にとりあげた短篇集です。

今回のパワーッシュ企画では、『盆土産と十七の短篇』について語り合う読書会を開催するほか、神奈川近代文学館の「三浦哲郎展 一星をかたりて、たれをもうらまず」図録の特別販売を実施いたします。

■パワーッシュ 三浦哲郎『盆土産と十七の短篇』関連企画 本のまち読書会『盆土産と十七の短篇』を読む

『盆土産と十七の短篇』について語り合う読書会。

現在も中学校教科書に載っている「盆土産」を、令和2年度版・光村図書出版の「国語2」を開きながら鑑賞します。



『盆土産と十七の短篇』（中央公論新社）
図録『三浦哲郎展』（神奈川近代文学館）

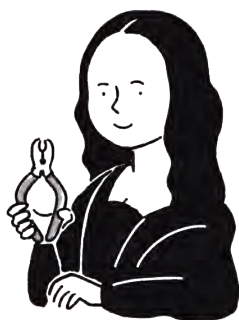
11:00 ~ / 要予約

21 Sat

ひと棚連携 アカデミック・トーク

エンジニア

レオナルド・ダ・ヴィンチ



ゲスト・**圓山重直（翠陵）** さん（八戸工業高等専門学校 校長）

世界一有名な絵画「モナリザ」の作者であるレオナルド・ダ・ヴィンチ。実は偉大な発明家・技術家（エンジニア）でもありました。その緻密な技術・発明の面からダ・ヴィンチの芸術を語り尽くしていただきます。

圓山重直さんからのメッセージ

芸術家として知られるレオナルド・ダ・ヴィンチですが、彼は偉大な発明家であり技術者でした。彼を有名にした絵画も人体解剖で得た知識を活用して緻密に構築しています。この芸術に対する姿勢は、同時期に活躍したミケランジェロと対照的です。今回はエンジニアとしてのダ・ヴィンチとその芸術についてお話しします。



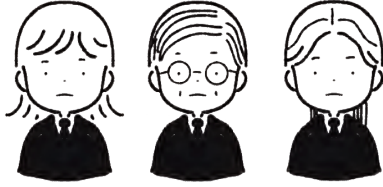
14:00 ~ / 要予約

28 Sat

ひと棚連携 アカデミック・トーク

なったらどうする？ 裁判員！

ゲスト・高須則行さん（八戸学院大学 地域経営学部 地域経営学科教



2009年から採用された裁判員裁判制度。

いつ、だれが選ばれるのかわからず、もし呼び出された場合はどうすればいいのか、そして、私たち一般人が裁判に参加する意義についても詳しく解説していただきます。

高須則行さんからのメッセージ

2009年から刑事事件において裁判員裁判制度が採用されています。それ以前は、専門裁判官が刑事裁判においても、民事裁判においても独占していましたが、裁判員裁判制度が導入されたことにより素人である私たち一般人が専門裁判官とともに刑事裁判に参加することができるようになりました。そこで、私たち一般人が刑事裁判に参加することの意義がどこにあるかを改めてみなさんと共に考えてみたいと思います。



14:00 ~ / 要予約

29 Sun

トークイベント

ひとり出版社・夏葉社 島田潤一郎さんに聞く

本をつくること・届けること

ゲスト・島田潤一郎さん（夏葉社 代表取締役）



編集・営業・事務などをすべてひとりでこなす“ひとり出版社”夏葉社を経営する島田潤一郎さん。現代ではあまり書店で見かけない昭和期の作品の復刊や、布を使ったり、表紙カバーのない装丁、巻末エッセイ寄稿者へのこだわりなど、特徴のある本を発行されています。今回のイベントでは、夏葉社の本の魅力に触れながら、ひとり出版社の普段のお仕事はどのような内容なのか、そして島田さんの本にかける想いなどを伺います。

島田潤一郎（しまだ・じゅんいちろう）

夏葉社代表取締役 1976年高知県生まれ。編集者としての経験を持たないまま2009年9月、ひとり出版社の夏葉社を吉祥寺で創業。スローガンは「何度も、読み返される本を」。「昔日の客」（関口良雄著）など絶版となっていた著書の復刊から、『冬の本』『本屋図鑑』といったオリジナル企画まで、本と本屋をテーマにした書籍を数多く手がける。著書に『あしたから出版社』（晶文社）、『古くてあたらしい仕事』（新潮社）、『父と子の絆』（アルテス・パブリッシング）がある。



14:00 ~ / 要予約

八戸ブックセンターの クリスマス 参



26 Thu クリスマスの本とリースのワークショップ
13:00 ~ 15:00 講師：日當紘子 (little plants)

満員御礼

28 Sat クリスマス絵本を楽しもう！

第1部 10:00~ 絵本のおはなし会

第2部 10:45~ クリスマス絵本のご紹介

ゲスト・戸田山みどりさん (八戸工業高等専門学校 教授)

第1部、第2部、どちらかだけのお申し込みも可能です。

第1部の対象は3~7才です。/第2部は小学校~大人の方むけ



八戸ブックセンターのお正月

12/5 Sat しめ縄かざりの本のワークショップ

13:00 ~
15:00

講師：日當紘子 (little plants) 入場料：3500円 飲み物代を含みます。

申込：instagram @little_plants7.29 または 0178-51-8036 (little plants・日當)

新型コロナウイルス感染予防のための対応とお願い

- すべてのイベントにおいて、読書会ルームの扉は常時開放させていただいております。
- マスクの着用、手指の消毒をお願いいたします。(消毒液は館内に設置しております)
- 各イベントについて、今後の感染の状況によっては開催中止とさせていただく場合がございます。

アクセス

【バス】 八戸駅東口から八戸市中心街行き約25分
「十三日町」または「八戸中心街ターミナル(八日町)下車すぐ

【鉄道】 八戸駅からJR八戸線「本八戸」下車徒歩約10分

住所

〒031-0033 青森県八戸市六日町16番地2 Garden Terrace 1階
TEL 0178-20-8368 開館時間：10:00~20:00
休館日：毎週火曜日(祝日の場合はその翌平日)、1/1、および12/29~12/31

最新情報 イベントのお申し込み

web <https://8book.jp>

こちらもチェック!

twitter @hachibookcenter

facebook @hachinohebookcenter

instagram @hachibookcenter



八戸ブックセンター
HACHINOHE BOOK CENTER